



障害者差別解消の施策推進で誰もが安心して暮らせる地域を

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告 ニュース

6月区議会で行った代表質問の内、障害者施策についてお知らせします。(要旨)

差別解消法の具体化を区民・民間の協力で推進

今年4月施行の障害者差別解消法は、障害者の社会参加を促し障害の有無で分け隔てされず、ともに生きることのできる社会の実現をめざす土台の一つとなる法律です。「差別」の定義が明確でないなど不十分さはありますが、障害者差別をなくす法律の施行は、重要な一歩です。障害者の方から「自転車の危険運転で危ない目に何度もあった」と訴えがありました。

不当な差別的取扱い
○本人を無視して介助者や支援者だけに話しかける。
○アパートを探す障害者に、「障害者向け物件はない」として対応しない。

差別解消の具体例

合理的配慮の提供
○聴覚障害のある人に対し、会議での発言を要約筆記する。
○知的障害のある人に対し、分かりやすい言葉を使いルビを振った資料を渡す。

「不当な差別的取扱い」です。法律では、国、自治体には、法的に義務づけられていますが、民間は努力義務。これでは問題は解決しません。

障害者への応益負担を止めるよ国に求めるべき

障害者総合支援法改定は、障害者自立支援法違憲訴訟原告団と国との基本合意とそれを反映した骨格提言に反して「応益負担」を残すなど重大な問題が含まれています。また軽度者のグループホームからの追い出しも懸念されています。これまで慣れ親しんできた生活の場から出ていくことは大変。介護保険優先の原則は一部負担軽減はあるもののそのままです。介護が必要な障害者の方が65才を過ぎると介護保険優先で一割の自己負担が生じる仕組みが全く理不尽です。区として介護保険優先の原則を止めるよう国に求めるとともに、区独自の負担軽減など支援策を実施することを求めました。

区はこの法律を受けて「対応要領」を策定、「不当な差別的扱い」「合理的配慮」の具体例を挙げています。区として「差別の定義」「合理的配慮」の内容を広く明らかにし、民間へも協力を積極的に働きかけるとともに、区内課題の総点検を求めました。また障害者福祉課の相談窓口で関係機関との連携や調整を行い、相談から救済までの機能を求めました。



No. 621
2016年7月17日
発行 日本共産党区議団
TEL 3802-4627
fax 3806-9246
メール arajcp@tcn-cat.v.ne.jp
★町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
TEL 3895-0504
メール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

参院選…荒川区の結果

【比例代表】 2016年7月10日投票開票 参議院選挙

有権者数	荒川区		東京全体		2013年	
	投票率	得票数	投票率	得票数	投票率	得票数
167,259	57.14%	14,635	11,157,991	57.50%	162,719	52.99%
政党名	得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%
日本共産党	14,635	15.86%	855,150	14.23%	12,532	14.93%
民進党	15,172	16.45%	1,183,613	19.70%	民主 6,957	8.29%
社会民主党	2,081	2.26%	169,405	2.82%	1,353	1.61%
生活の党	2,587	2.80%	192,060	3.20%	1,774	2.11%
自由民主党	32,236	34.94%	2,067,119	34.40%	26,990	32.15%
公明党	12,616	13.67%	688,463	11.46%	12,479	14.86%
おおさか維新	6,966	7.55%	440,084	7.32%	維新 9,781	11.65%
こころ	1,472	1.60%	99,375	1.65%		
新党改革	1,622	1.76%	104,834	1.74%		
その他	2,867	3.11%	209,364	3.48%	12,090	14.40%
合計	92,258		6,009,474		83,956	

【東京選挙区】 (定数6人 丸数字は順位)

有権者数	荒川区		東京全体		2013年	
	投票率	得票数	投票率	得票数	投票率	得票数
167,259	57.14%	11,248	6,415,554	57.50%	162,719	52.99%
候補者名	得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%
山添拓(共)	⑤11,248	12.25%	④ 665,835	10.70%	吉良 11,361	13.55%
運舩(民進)	①14,586	15.89%	① 1,123,145	18.05%	鈴木 6,981	8.33%
小川敏夫(民進)	6,288	6.85%	⑥ 508,131	8.16%	無大河原 2,273	2.71%
増山麗奈(社民)	1,231	1.34%	93,677	1.51%	無山本 9,339	11.14%
中川雅治(自)	④11,519	12.55%	② 884,823	14.22%	武見 7,732	9.22%
朝日健太郎(自)	③12,211	13.30%	⑤ 644,799	10.36%	丸川 17,457	20.82%
竹谷とし子(公)	②13,618	14.84%	③ 770,535	12.38%	山口 13,940	16.62%
田中康夫(お維新)	⑥ 6,814	7.42%	469,314	7.54%	維新小倉 6,577	7.84%
鈴木麻里子(こ)	1,554	1.69%	102,402	1.65%		
高樹沙耶(改)	1,037	1.13%	60,431	0.97%		
その他	11,685	12.73%	900,452	14.47%	8,194	9.77%
計	91,793		6,223,546		83,854	

午後8時投票が締め切られると、投票所から投票箱が開票所のスポーツセンターに運ばれ開票作業が進み、立会人が票の確定をします。比例立会人となった我が党議員によれば、「党」が「堂」、「添」の字がサンズイではなかったり、点が多かったり少なかったりもあったようですが、これも有効票です。職員が開票作業の中で、正確に書かれていない票や「日本共産党の田村智子」判断を要する票、無効票などを一枚づつ立会人が確認し、有効とするか判定し、最後は選挙管理委員長(選挙長)が確定します。有権者の意思が読み取れるものは、有効と判断することが大事です。

東京選挙区は候補者31人、比例代表も政党名だけでなく、比例代表候補者も集計していくので、終了したのは翌朝7時過ぎだったそうです。



裏面 「まちの話題」、西日暮里再開発など

8月の定例法律相談はお休みします。
※お急ぎの方はご連絡下さい。

生活相談は、随時受け付け
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ
控室 3802-4627

西日暮里駅前再開発の行方？



2018年都市計画決定？

ほとんどの区民がJRに乗り換えたり、通過したりする西日暮里駅は、おなじみの駅。いまこの駅前再開発の動きが動いています。この度区議会に再開発計画の報告しました。

再開発準備組合の「まちづくりの考え方」（案）を基に開発方針をつくり、2018年都市計画決定をめざしています。

整備方針は：☆多様な世代が豊かに住み続けられ☆駅前立地☆にぎわいと文化☆安全・安心、災害に強い☆景観とうるおいのまち：です。

従来型の駅前開発？

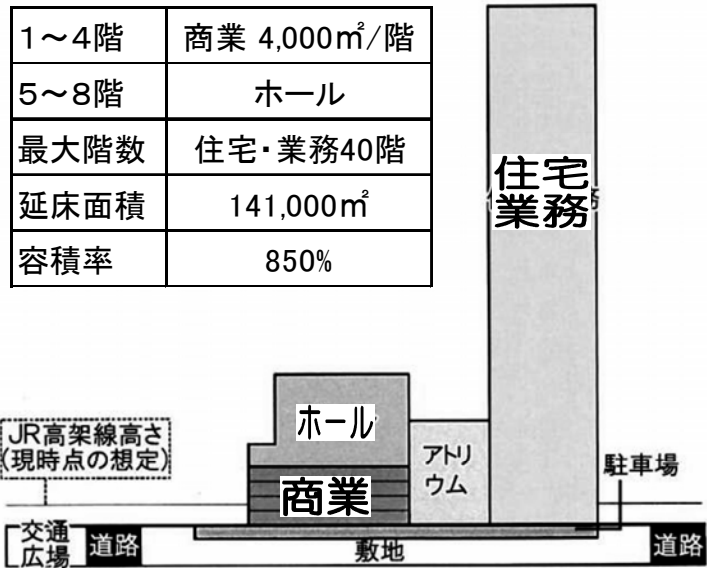
再開発にあたっては、容積率を現状の1.5〜2倍程度に設定。公共施設は現在の保育園、デイサービスの他、区民会館（1,500席規模）を検討。超高層ビルの上

部に分譲・賃貸住宅、低層階に

ホールと商業・業務施設（野村不動産、三菱地所を事業協力者として選定）などを見込む内容です。しかし地権者79人の内、準備組合に参加は55人約7割です。区議会には、開発地域から外してほしいという地権者の陳情も出されています。

サンパール荒川の移転・大規模ホール建設は必要？

開発対象地域に区外利用者を想定した区民会館Ⅱ大規模ホールとしての移転・建替えを計画しています。そもそもサンパールは、大規模改修を行ったばかりで、今後15年は、利用できるとしてしています。開発と建替え時期の整合性も問われます。このまま進めて良いのか？区民会館の立地とサービス内容は



区民要望をきちんと聞いた対応が必要です。



区の教育ネットワーク・個人情報とは？

佐賀県で導入している県立高校の生徒の住所や成績情報を一元管理するSEI-Netというシステムが17歳の容疑者に突破され情報が大量流出した事件がありました。また校内の無線ランからも情報を盗まれています。荒川区でも教育ネットワークシステムやタブレットPCの無線ランを使っており、個人情報

まちの話あれこれ

三宏木材跡地のマンション建設が急ピッチです
これまでにない高さ…旭電化通りのこれから？

旭電化通り南側の道路を拡幅する計画が実施されています。その中でも三宏木材跡地に建設されているマンションは、高さの点でのこの通りでは、これまでにない高層になっていきます。下手をすれば一定まとまった土地があるところの程度のマンションが軒を連ねることになるのでしょうか。これで考えることは、関東大震災を教訓にした道路拡幅中心の防災まちづくりで良いのかという事です。地域コミュニティを壊さない防災対策の模索が続きます。 横山幸次



報保護は、どうなっているのでしょうか。区に確認すると児童生徒の情報は学校ごとの管理で、一元化されたシステムではなく、大丈夫そうです。次に、荒川区も佐賀県同様にタブレット端末を無線ランで利用していますが、個人情報は無線ランには載っていないということですが、教育ネットワークのサーバーに情報を入れて使っている学校が一部ありますが、個人情報を扱う場合は有線に切り替えないと使えません。あるいは

は、多くの学校は、独立したパソコンでしか個人情報を扱わないようにしています。佐賀県とは基本的な仕組みが違うようで荒川区はひとまず大丈夫そうです。しかし、悪意でパスワードなどを盗み侵入するようなことがあれば、安心してきません。対策の検討が求められます。教育委員会には、佐賀県などと同様の個人情報を一元管理するシステムの売り込みなどもあるようですが、こういう事件がある以上、慎重な対応が必要です。

